

CLALIS™ リンク Plus を用いた管理業務の効率化

◎小栗 美里¹⁾、佐藤 文明¹⁾、下村 美幸¹⁾、天木 美穂¹⁾、杉浦 京可¹⁾、加藤 栞里¹⁾、佐原 香穂里²⁾、木田 明¹⁾
株式会社 グッドライフデザイン¹⁾、トヨタ記念病院²⁾

【はじめに】昨今、臨床検査の品質・精度の確保や試薬管理の重要性が医療法や ISO15189 でも明確化された。当施設では、2005 年に ISO15189 の認定を受け、管理業務において試行錯誤を繰り返してきた。この度、管理業務の効率化を目的として、日本電子株式会社の拡張データ処理システム CLALIS™ リンク Plus（以下、CLALIS リンク）を導入したので報告する。

【概要】(1) CLALIS リンクは生化学自動分析装置 BioMajesty™（日本電子株式会社）の精度管理を一括管理する精度管理システム、試薬管理システム、検査情報システムから構成されている。(2) 当施設において、CLALIS リンクに BioMajesty™ JCA-BM8020 2 式、JCA-BM9130 1 式を接続した。また、生化学/免疫部門の全試薬の管理を行っている。

【方法】CLALIS リンク導入前 2020 年 4 月～2021 年 3 月と CLALIS リンク導入後 2023 年 4 月～2024 年 3 月にて、以下の比較を行った。

(1) 精度管理の確認にかかる工数

(2) 校正データの保管にかかる印刷枚数および工数

(3) 試薬管理業務（在庫数、ロット、有効期限、使用開始日等）における変化

【結果】(1) 導入前：312 時間/年、導入後：96 時間/年

(2) 導入前：印刷枚数 1,200 枚/年、12 時間/年、導入後：印刷枚数 0 枚/年、0 時間/年（全てデータ管理としたため）

(3) 導入前：複数種類の台帳による紙管理、導入後：CLALIS リンクによる一元管理

【考察】CLALIS リンク導入は精度管理業務効率化による工数削減、試薬管理業務のシステム化による管理不備発生リスク低減、ペーパーレス化によるコスト低減に有効的であった。

【結語】ISO15189 の要求事項に合致した、CLALIS リンクの導入により、管理業務の効率化に繋がったといえる。これらのことが、検査の精度保証につながったと考える。

【連絡先】

株式会社グッドライフデザイン ラボラトリー事業部
0565-25-3165